

三重県鳥羽市の概要と課題

MaaSで進化するへき地医療DX
～オンライン診療による距離の制約からの解放～

鳥羽市の地理・人口・医療の状況

三重県南部、志摩半島の北東端に位置し、有人離島4島を有する。
2024年9月末 住民基本台帳 人口16,473人(高齢化率 41.4%)
2023年 社人研 将来の推計の2050年人口 8,107人(52.9%)
人口減少と高齢化が加速していく見通しにある。

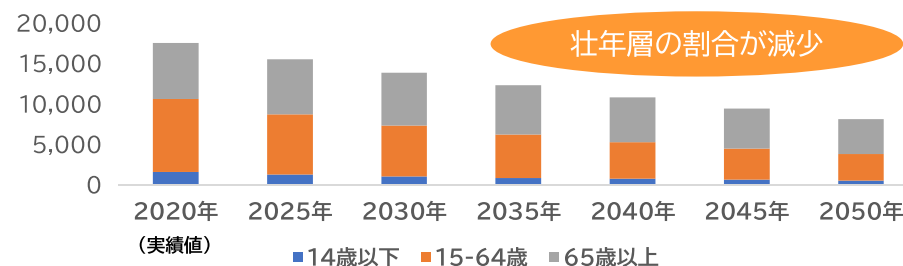
鳥羽市における医療課題

- ・高齢化が進む中、通院困難な患者の増加
- ・将来にわたる医師不足の懸念
- ・人口減・医療コストの増大

課題に対する対応

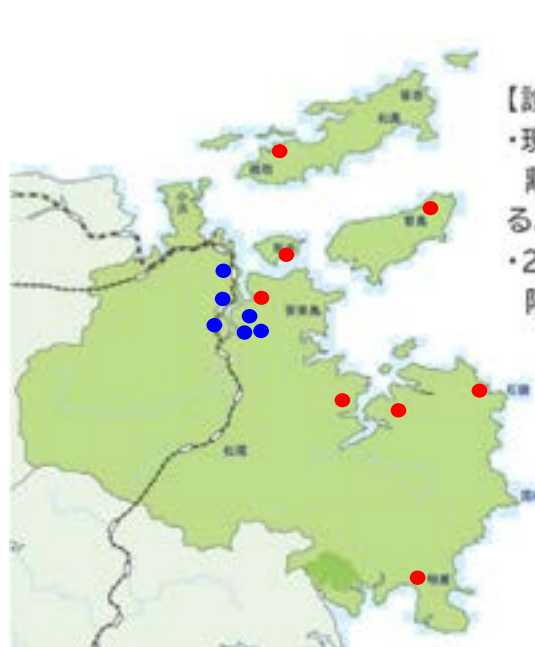
- ・居住地に近い場所で医療が受けられる体制づくり
- ・少ない医師で広範囲をカバーできる体制づくり
- ・効率的な診療所の運営

【鳥羽市人口(国勢調査・国立社会保障・人口問題研究所R5推計)】



壮年層の割合が減少

(単位:人)



【診療所の状況】

- ・現在民間医療機関は市の中心部にあり
離島を含むへき地等においては市立診療所を設置している。
- ・2019年から5年間で民間医療機関3施設が閉院。
限られた医療資源で地域の健康を守っていく必要がある。

- 市立診療所
- 民間医療機関

デジタル技術等の新たな工夫でへき地医療を守っていく必要がある

鳥羽市のへき地医療DX

MaaSで進化するへき地医療DX
～オンライン診療による距離の制約からの解放～

令和2年度

国土交通省
スマートアイランド推進実証調査

取組

クラウド型電子カルテの導入

遠隔診療支援システムの導入

成果

医師が離れた場所から
でも診療可能な体制

- ・どこからでもカルテ利用が可能に
- ・市立診療所において複数の医師が複数の診療所の患者を診るグループ診療体制の確立
- ・市立診療所を1つの病院に見立てた「バーチャル鳥羽離島病院実証プロジェクト」開始
- ・遠隔地から生体データをリアルタイムに収集しながらオンライン診療が可能に

令和4年度

国土交通省
スマートアイランド推進実証調査

取組

機器整備地区の追加
(医療機関が閉院した地域にオンライン診療室を設置)

遠隔診療機器の拡充
(生体情報をより詳しく伝達できる体制)

成果

遠くまで行かずとも
診療を受けられる地区拡大

- ・離島の閉院医療機関跡にオンライン診療室を開設
- ・離れた地区にある市立診療所からオンライン診療を受けられる基盤を整備
- ・地域の薬局と連携してオンライン服薬指導を開始

令和5～7年度

内閣府
デジタル田園都市国家構想交付金事業

取組

医療MaaS車両の配備

成果

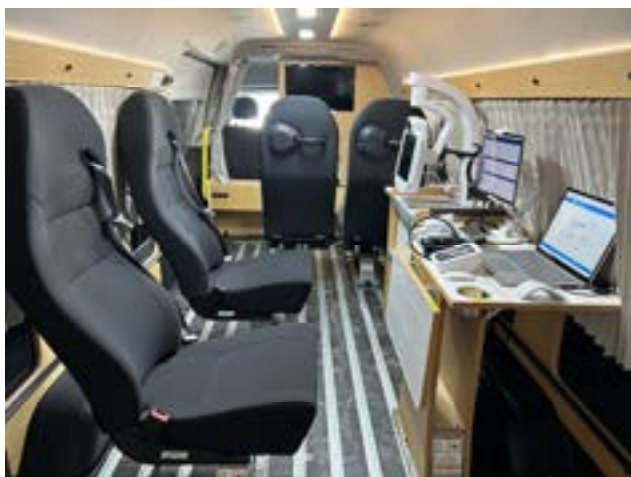
居住地域外へ外出しづらい
高齢者の通院をデジタルで
スムーズに

- ・車両を活用し患者の居住地近くでのオンライン診療が可能に
- ・対面診療が必要な場合には移送を行い、その予約はシステムで円滑化
- ・居住地区の診療所開設時間に縛られないことで診療機会が増大
- ・本土側で施設に依らない診療体制の確立

鳥羽市の医療MaaS実証事業の取り組み

MaaSで進化するへき地医療DX
～オンライン診療による距離の制約からの解放～

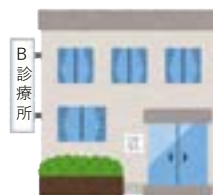
車両の中でオンライン診療を可能にし、通院の距離の制約から解放する



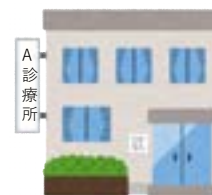
これまでは医師が移動して各地区で順に市立診療所を開設

非効率

診療機会が
不十分



B地区で
短時間診察



A地区で
短時間診察



居住地区の診療所が都合の良い時間に開いていない
隣の地区の診療所までは一人で行けない

車内装備品

- ・クラウド型電子カルテ
- ・遠隔診療支援システム
- ・オンライン配車予約システム
- ・会計用PC、プリンタ

オンライン診療、会計、次回予約まで
車内で完結

医療MaaS車両活用方法

01 患者宅近くまで行き、
車内でオンライン診療



02 対面診療が必要な場合は患者宅と診療所間を移送
(予約・配車に専用システムを活用し、調整を円滑化)

